

鉄斎 画業の展開

会期 3月19日(水)～5月11日(日)

月曜日休館

但し5月5日(月)は開館 翌6日(火)は休館



前回の「画業のはじまり」の展示に続き、今回は鉄斎の50歳代～60歳代の作品を中心に「画業の展開」を見ていきたいと思ひます。

鉄斎は47歳の時すべての公職を離れ、89歳で没するまで住むことになる京都室町一条に転居し文人画師の生活に入りました。当時の日本は急激な近代化の波が押し寄せ、また日本美術界においても美術学校が作られ、各種の展覧会が次々と開催されるなど活発な動きが見られるようになりました。この頃にはすでに画家として、学者としての鉄斎の評価も定まっており、幸野楳嶺主催の京都青年絵画研究会、京都青年会画共進会あるいは新古美術品展覧会などの審査員や評議員に任命されたり、京都市美術学校の修身の教師を嘱託されるなどしていましたが、鉄斎自身は終生自分は絵師ではないと言ひ、日本南画協会と後素如雲社の展覧会以外に出品することはありませんでした。また「京都美術雑誌」「絵画叢誌」「南宋画志」などにいくつかの小論を寄稿したりもしています。

文人画師の理想とする「万巻の書を読み、万里の路を往く」という生活を十分に実践し、以前にも増して内外の古典籍を涉獵し、それらを悉く自家葉籠中のものとししました。一方、中国や日本の先人の画風や画技を積極的に学び吸収していったことは、夥しい数で残された粉本からも知ることができます。この年代からは典雅な大和絵風の作品が数多く描かれ（No.3, 7, 9, 17, 21, 23）、大津絵風の作品（No.16）、明清画風の作品（No.8, 28）なども描かれるなど、画法も非常に広範囲にわたるようになります。

鉄斎は「自分は意味のない絵は描かない」と常に言っていたように、絵の主題も多岐にわたり多くは教訓的、勸戒の意味を持っており、それらにはそれぞれ典拠があります。また日本の風景、風俗にも強く関心を持ち、自身の見聞や体験が様々な作品となって生まれました。鉄斎が明治二十年に、長らく中断していた太秦の牛祭を有志とともに再興したことは有名ですが、このこともいくつかの作品となって残りました（No.10, 31）。鉄斎が最晩年まで繰り返し描き続けた僊境図を描き始めるのも（No.45）、また鉄斎が生涯敬愛した宋代最大の文人蘇東坡に因んだ作品を多く描き始めるのもこの頃からです（No.43）。

鉄斎は63歳のとき六曲一双屏風「富士山図」（No.33）を、69歳のとき「名所十二景図」（No.40）を描きましたが、これらの作品は鉄斎が全国をくまなく歩き、学術調査を行い、歴史的旧跡や風光明媚な名所をたずね、それらの風景を鉄斎自身の真景図として意志的にあるいは鉄斎の胸中に活きた十二景を描いています。名所十二景図では北は北海道の蠟燭岩を、南は九州の高千穂山・耶馬溪を、近くはおのころ島・吉野山などを描き、その賛には「・・・読書万巻千里を行くも。愧づらくは我未だ画祖師と為らず」と書き、自身の画師としての未熟さを恥じているのです。

以上のように今回展示の作品から画業の展開を簡単に見てきましたが、それらはとりもなおさずすでに晩年の鉄斎作品の主題の多くが見られる点でも、画法や色彩の妙味においても鉄斎芸術の開華を十分に予感して頂けるものと思ひます。

《出品目錄》

| 番号 | 題名 | 制作年代 | 年令 | 本紙寸法 | 材質・彩色 | 形状 |
|----|-------------|------------|-----|----------------|-------|------|
| 1 | 嵐山秋楓図 | 1886(明治19) | 51 | 161.8×57.0 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 2 | 溪山真楽図 | 1889(明治22) | 54 | 158.8×65.3 | 紙本 淡彩 | 掛軸 |
| 3 | 山上憶良貧窮問答歌図 | 1891(明治24) | 56 | 130.5×42.2 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 4 | 群仙翫瓢図 | 1891(明治24) | 56 | 40.0×131.6 | 絹本 着色 | 額装 |
| 5 | 李太白像 | 1893(明治26) | 58 | 126.0×51.1 | 紙本 淡彩 | 掛軸 |
| 6 | 湘君図 | 1894(明治27) | 59 | 141.4×48.7 | 紙本 着色 | 掛軸 |
| 7 | 楠妣庵図 | 1894(明治27) | 59 | 140.4×49.6 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 8 | 野亭遊客図 | 1894(明治27) | 59 | 180.5×97.0 | 紙本 墨画 | 掛軸 |
| 9 | 安宅関図 幸野煤嶺賛 | | 50代 | 135.9×61.7 | 紙本 着色 | 掛軸 |
| 10 | 牛祭図 | | 50代 | 133.3×31.4 | 紙本 淡彩 | 掛軸 |
| 11 | 英雄肥遁図 | | 50代 | 135.2×33.6 | 紙本 淡彩 | 掛軸 |
| 12 | 蒲生君平図 | | 50代 | 142.0×50.2 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 13 | 溪山雪霽図 | | 50代 | 140.5×39.0 | 紙本 淡彩 | 掛軸 |
| 14 | 懸崖蘭図 | | 50代 | 130.7×42.8 | 紙本 墨画 | 掛軸 |
| 15 | 三聖図 | | 50代 | 129.4×41.5 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 16 | 獅子舞図 | | 50代 | 128.1×50.7 | 紙本 着色 | 掛軸 |
| 17 | 蕉翁乘馬図 | | 50代 | 127.6×50.5 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 18 | 菖蒲故事図 | | 50代 | 124.8×25.0 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 19 | 深山溪谷図 | | 50代 | 174.6×96.0 | 紙本 墨画 | 掛軸 |
| 20 | 仁者楽山図 | | 50代 | 159.0×61.0 | 紙本 淡彩 | 掛軸 |
| 21 | 大嘗会・釋奠図 | | 50代 | (各)130.6×60.3 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 22 | 立雛図 | | 50代 | 128.4×50.2 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 23 | 鳩峰・五瀬・春日三景図 | | 50代 | (各)127.2×50.3 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 24 | 英一蝶幽居図 | | 50代 | 125.4×42.0 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 25 | 十六羅漢図 | | 50代 | 42.9×132.2 | 絹本 着色 | 額装 |
| 26 | 梅山秋葉図 | | 50代 | 33.5×125.0 | 絹本 着色 | 額装 |
| 27 | 梧陰高士図 | 1895(明治28) | 60 | 129.3×32.8 | 紙本 淡彩 | 掛軸 |
| 28 | 天保九如章図 | 1896(明治29) | 61 | 140.3×56.0 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 29 | 碩儒対話図 | 1896(明治29) | 61 | 138.5×52.0 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 30 | 牧谿嗜酒図 | 1897(明治30) | 62 | 132.0×32.8 | 紙本 着色 | 掛軸 |
| 31 | 太秦牛祭図 | 1897(明治30) | 62 | 149.0×53.0 | 紙本 着色 | 掛軸 |
| 32 | 漢織呉織二女像 | 1898(明治31) | 63 | 105.6×33.2 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 33 | 富士山図 | 1898(明治31) | 63 | (各)153.0×352.5 | 紙本 着色 | 六曲屏風 |
| 34 | 寿山福海図 | 1899(明治32) | 64 | (各)127.8×50.1 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 35 | 壳柑者図 | 1899(明治32) | 64 | 101.5×36.7 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 36 | 觀世音菩薩育子図 | 1900(明治33) | 65 | 127.3×51.0 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 37 | 閩家全慶図 | 1900(明治33) | 65 | 103.5×48.7 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 38 | 三老登嶽図 | 1901(明治34) | 66 | 129.6×50.3 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 39 | 幽崖芝蘭図 | 1903(明治36) | 68 | 123.3×46.9 | 紙本 墨画 | 掛軸 |
| 40 | 名所十二景図 | 1904(明治37) | 69 | (各)138.0×51.9 | 紙本 着色 | 六曲屏風 |
| 41 | 蝦蟇鉄拐図 | | 60代 | 125.5×50.1 | 絹本 墨画 | 掛軸 |
| 42 | 溪山勝概図 | | 60代 | 187.2×99.9 | 紙本 墨画 | 掛軸 |
| 43 | 前後赤壁遊図 | | 60代 | (各)129.8×52.0 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 44 | 普陀落山觀世音菩薩像 | | 60代 | 147.0×41.9 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 45 | 蓬萊僊境界図 | | 60代 | 139.3×42.9 | 絹本 着色 | 掛軸 |
| 46 | 幽境無塵図 | | 60代 | 130.3×51.3 | 紙本 淡彩 | 掛軸 |
| 47 | 陸羽像 | | 60代 | 64.2×20.9 | 紙本 墨画 | 掛軸 |
| 48 | 百事如意図 | | 60代 | 42.0×97.6 | 絹本 着色 | 額装 |

| 番号 | 題名 | 制作年代 | 年令 | 本紙寸法 | 材質・彩色 | 形状 |
|----|---------|------------|-----|--------------------------|-------|------|
| 49 | 北野大茶湯図巻 | 1890(明治23) | 55 | 33.1×575.3 | 絹本 着色 | 卷子 |
| 50 | 砧 | | 50代 | 12.0×38.0 | 紙本 淡彩 | 扇子 |
| 51 | 鶴・亀図 | | 50代 | (各) 12.2×38.2 | 紙本 着色 | 扇子 |
| 52 | 高尾楓葉図 | | 50代 | 17.5×45.0 | 紙本 淡彩 | 扇面額装 |
| 53 | 遺像在 此帖 | | 50代 | (各) 18.5×13.0 | 紙本 着色 | 画帖 |
| 54 | 景德鎮陶窯図巻 | 1896(明治29) | 61 | 16.9×637.0 16.9×346.0 | 紙本 着色 | 卷子 |
| 55 | 名家逸事談 | 1898(明治31) | 63 | 14.2×251.0 | 紙本 淡彩 | 卷子 |
| 56 | 謝蕪村書巻 | 1902(明治35) | 67 | 18.0×380.0 | 紙本 淡彩 | 卷子 |
| 57 | 五岳真形図 | 1903(明治36) | 68 | 31.1×140.8 | 紙本 着色 | 卷子 |
| 58 | 七福遊戯図 | | 60代 | 30.0×192.8 | 紙本 着色 | 卷子 |
| 59 | 十二生肖図巻 | | 60代 | 27.2×136.3 | 紙本 淡彩 | 卷子 |
| 60 | 蔬菜図 | | 60代 | 27.7×146.8 | 絹本 着色 | 卷子 |
| 61 | 晃山勝区図 | | 60代 | (各) 17.6×23.4 | 紙本 淡彩 | 画帖 |
| 62 | 富士山図 | | 60代 | 16.3×53.4 | 紙本 着色 | 扇面額装 |
| 63 | 蓮華図 | | 60代 | 16.1×51.8 | 紙本 淡彩 | 扇面額装 |

作品の賛文訓読・大意はパネルで展示してありますが、そのうち訓読は原則として現代仮名遣いとし、漢字は通行の文字を用いました。誤字、脱字は「鉄斎研究」により補正しました。

出品作品は期間中下記の通り二回にわけて展示いたします。
但し一部作品は重複することがあります。

前期 3月19日(水)～4月13日(日)

後期 4月15日(火)～5月11日(日)